

農林水産省 令和 5 年度

食産業の戦略的海外展開支援委託事業

(ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)

令和 6 年 3 月

ONE-VALUE 株式会社

目次

ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証制度の活用促進

- 1) 第1回分科会（有機、食品安全）
- 2) 有機 JAS 普及に向けた研修
- 3) 食品安全基礎研修及び監査員研修
- 4) 第2回分科会（有機、食品安全）
- 5) ワーキンググループ

1) 分科会（有機、食品安全）

日時：令和5年6月22日（木）

10:30~12:30 食品安全分科会（日本時間）

15:30~17:30 有機分科会（日本時間）

場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発室 会議室（オンライン会議形式）

言語：日本語・ベトナム語（逐次通訳）

概要

各分科会において、日本側より2023年度の活動方針について説明し、その後参加者より活動内容についての意見交換や、2023年度に実施予定の研修・セミナーの内容についての議論を行った。

2) 有機 JAS 普及に向けた研修

日時：令和5年10月9日（月）11:00~18:30（日本時間）

令和5年10月10日（火）11:00~18:30（日本時間）

令和5年10月11日（水）11:00~18:30（日本時間）

令和5年10月12日（木）11:00~18:30（日本時間）

場所：スーパーホテルキャンドルハノイ（ベトナム現地）及びオンライン

言語：日本語・ベトナム語（逐次通訳）

1. 概要

有機 JAS 登録認証機関になることを希望する者、有機 JAS 認証審査員になることを希望する者、有機 JAS 認証取得を考えている者、生産事業者、小売業者、流通業者、等を対象とし、有機 JAS 認証審査員育成のための研修を4日間にわたって開催した。講師は（一社）日本農林規格認証アライアンスが務めた。研修は有機 JAS 全般に関する講義から始まり、2日目は1日目で受講した内容を踏まえた質疑応答及び意見交換、3日目と4日目はCB候補向けのグループワークが行われる等、多岐にわたる研修内容となった。

2. 実施プログラム

【1日目：有機 JAS 全般に関する講義】

日本時間	ベトナム時間	テーマ
11:00~11:30	9:00~9:30	開会

農林水産省 令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
 (ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)

11:30~12:20	9:30~10:20	・有機 JAS 制度について ・日本の展示会情報、有機製品のニーズ
12:20~12:30	10:20~10:30	休憩
12:30~14:00	10:30~12:00	日本の有機 JAS 規格の解釈： 有機農産物 JAS 規格の要求事項と受入基準
14:00~15:30	12:00~13:30	昼休憩
15:30~17:20	13:30~15:20	日本の有機 JAS 規格の解釈： 有機畜産物及び有機加工食品 JAS 規格の 要求事項と受入基準
17:20~17:30	15:20~15:30	休憩
17:30~18:30	15:30~16:30	質疑応答

【2日目：質疑応答・意見交換等】

日本時間	ベトナム時間	テーマ
11:00~13:50	9:00~11:50	質疑応答・意見交換等 (適宜 10 分程度の休憩)
13:50~15:30	11:50~13:30	昼休憩
15:30~18:30	13:30~16:30	質疑応答・意見交換等 (適宜 10 分程度の休憩)

【主な質疑応答・意見交換の内容】

- ・有機 JAS 認証取得に必要な手続き、費用等について
- ・有機 JAS のグループ認証について
- ・有機 JAS 農産物栽培にあたって使用可能な資材及びその評価方法について
- ・有機 JAS 農産物栽培にあたっての土壌、水の基準について
- ・日本の有機 JAS 規格とベトナムの有機規格 (TCVN 11041-2017) の違いについて

【3日目：CB 候補向けのグループワーク】

日本時間	ベトナム時間	テーマ
11:00~14:00	9:00~12:00	グループワーク① 【テーマ】 ・認証範囲の設定 ・組織づくりと力量評価 (適宜 10 分程度の休憩)
14:00~15:30	12:00~13:30	昼休憩
15:30~18:30	13:30~16:30	グループワーク② 【テーマ】

農林水産省 令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
 (ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)

		<ul style="list-style-type: none"> ・業務規程づくり ・認証手数料づくり (適宜 10 分程度の休憩)
--	--	--

【4 日目：CB 候補向けのグループワーク】

日本時間	ベトナム時間	テーマ
11:00~14:00	9:00~12:00	グループワーク③ 【テーマ】 ・書類・記録の様式づくり ・講習会、研修会のプログラム作り (適宜 10 分程度の休憩)
14:00~15:30	12:00~13:30	昼休憩
15:30~18:00	13:30~16:00	グループワーク④ 【テーマ】 ・公平性リスク分析 ・年間計画 (適宜 10 分程度の休憩)
18:00~18:30	16:00~16:30	閉会挨拶

【記録写真】



3) 食品安全基礎研修及び食品監査研修

日時：①食品安全基礎研修

令和5年12月13日(水) 10:15~19:30(日本時間)

令和5年12月14日(木) 10:30~19:30(日本時間)

令和5年12月15日(金) 10:30~19:30(日本時間)

②監査員研修

令和5年12月18日(月) 10:00~19:30(日本時間)

令和5年12月19日(火) 10:00~19:30(日本時間)

場所：オンライン開催

言語：日本語・ベトナム語(逐次通訳)

1. 概要

当研修は、JFSM 承認の研修を有している鹿児島大学が実施した。JFS-A/B の監査会社として登録されることを希望する機関に対し、JFSM が求めるオンライン研修の規則に則り、10名の募集を行った。結果的に、計10名に対して5日間のJFS 監査員養成研修を行い、うち9名が研修を修了見込みとなった。研修は3日間の食品安全基礎研修から始まり、4日目と5日目には監査員研修が行われた。食品安全基礎研修では、HACCP の概要や GHP についての講義や、HACCP の手順に則ったグループワークが実施された。監査員研修では、品質保証部門の責任と役割について重点的な講義を行った後、グループワークやロールプレイングが実施された。

2. 実施プログラム

【食品安全基礎研修】

1日目

日本時間	ベトナム時間	テーマ・内容
10:15-10:30	8:15-8:30	開会挨拶
10:30-11:00	8:30-9:00	日本発の国際的食品安全管理
11:00-12:10	9:00-10:10	日本の食品安全管理と HACCP の概要
		JFS-B 規格
12:10-14:10	10:10-12:10	食品安全マネジメント
		危害管理 (HACCP) 、前提条件プログラム (GMP、SSOP) 及び食品安全関連法規の概要
15:00-16:30	13:00-14:30	適正衛生規範 (GHP)
		・食品危害の導入と管理 ・一次生産 ・施設、設備の設計

農林水産省 令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
 (ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)

16:30-17:30	14:30-15:30	適正衛生規範 (GHP)
		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングと能力 ・施設の維持管理、清掃、消毒、ペストコントロール ・個人衛生
17:30-18:30	15:30-16:30	適正衛生規範 (GHP)
		<ul style="list-style-type: none"> ・運営管理 ・製品情報と消費者意識 ・輸送
18:30-19:30	16:30-17:30	グループワークの指導、管理者のコミットメント、 HACCP チームの結成 (HACCP ステップ 0 と 1)
		モデル食品会社の準備

2日目

日本時間	ベトナム時間	テーマ・内容
10:30-12:20	8:30-10:20	グループワーク (HACCP ステップ 2 及び 3)、発表
		製品説明の文書化、製品の想定使用目的と対象消費者の仕様
12:20-14:00	10:20-12:00	グループワーク (HACCP ステップ 4) 及び発表
		フローチャートの作成
15:00-16:00	13:00-14:00	HACCP ステップ 5 の簡単な説明
		フローチャートの現場確認のシミュレーション、ゾーニングの改善
16:00-19:30	14:00-17:30	グループワーク (HACCP ステップ 6 及び 7)
		ハザード分析、重要管理点の決定

3日目

日本時間	ベトナム時間	テーマ・内容
10:30-12:30	8:30-10:30	グループワーク (HACCP ステップ 6 及び 7) 及び発表
		ハザード分析、重要管理点の決定
12:30-14:00	10:30-12:00	グループワーク (HACCP ステップ 8 及び 9) 及び発表
		管理基準の確立とモニタリングシステム
15:00-16:30	13:00-14:30	グループワーク (HACCP ステップ 10 及び 11) 及び発表
		是正措置、検証
16:30-17:20	14:30-15:20	グループワーク (HACCP ステップ 12) 及び発表
		文書及び記録

農林水産省 令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
 (ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)

17:20-19:30	15:20-17:30	全体のまとめ、試験、試験の評価と解説
-------------	-------------	--------------------

【食品監査研修】

1日目

日本時間	ベトナム時間	テーマ・内容
10:00-12:00	8:00-10:00	品質保証部門の責任と役割
		(1)監査の導入
12:00-14:00	10:00-12:00	品質保証部門の責任と役割
		(2)GFSIと食品安全スキームの理解
15:00-16:30	13:00-14:30	品質保証部門の責任と役割
		(3)JFSM 要件の理解
16:30-17:30	14:30-15:30	品質保証部門の責任と役割
		(4)監査準備-範囲、目的、計画と設計
17:30-18:30	15:30-16:30	監査の実施とその活用
		書類審査と監査の完了
18:30-19:30	16:30-17:30	監査の実施と活用
		書類審査と監査完了

2日目

日本時間	ベトナム時間	テーマ・内容
10:00-13:00	8:00-11:00	グループワーク
*休憩 (10:45-11:45)	*休憩 (8:45-9:45)	・JFS-A/B 認証スキームに基づく審査の視点 ・監査チームの準備
13:00-14:00	11:00-12:00	グループワーク
		・品質マネジメントマニュアルの監査計画とチェックリストの作成
15:00-16:00	13:00-14:00	模擬監査演習
		・審査のロールプレイング (1) ・証拠収集、観察、インタビュー、文書審査
16:00-17:00	14:00-15:00	模擬監査演習

農林水産省 令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
 (ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)

		<ul style="list-style-type: none"> ・監査ロールプレイング(2) ・適合・不適合の評価 ・クロージングミーティング、監査報告、是正処置
17:00-18:00	15:00-16:00	グループワーク
		<ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成、監査結果発表 ・是正処置報告、監査終了 ・審査のまとめ-食品安全における審査員の役割
18:00-19:15	16:00-17:15	試験、総評のまとめ
19:15-19:30	17:15-17:30	閉会挨拶

4) 分科会（有機・食品安全）

日時：令和6年1月29日（月）

10:00~12:00 有機分科会（日本時間）

13:00~15:00 食品安全分科会（日本時間）

場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（オンライン会議形式）

言語：日本語・ベトナム語（逐次通訳）

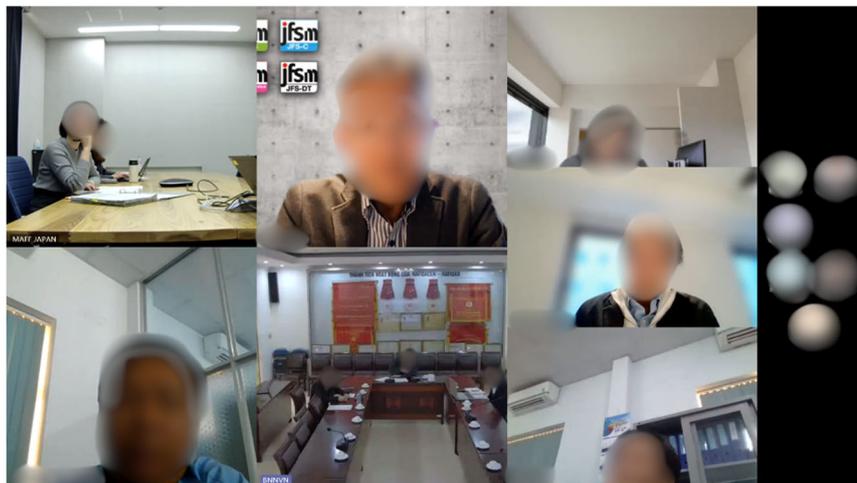
概要

各分科会において2023年度の活動報告とレビューが実施された後、次年度の活動計画について意見交換が実施された。2024年度に実施予定の研修・セミナーの内容についての議論を行った。

【記録写真】



農林水産省 令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
(ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用)



5) ワーキンググループ

日時：令和6年1月31日（月）13:00~14:00（日本時間）

場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（オンライン会議形式）

言語：日本語・ベトナム語（逐次通訳）

概要

FSM、有機認証の2分科会で実施された2023年度の活動報告とレビュー及び2024年度の活動計画について報告が行われた。その後、2024年度の両国の協力の活動方針について確認が行われた。

【記録写真】

